

### 1. 参加表明書・技術提案書

平成 30 年 7 月 24 日（火）に 7 者の設計共同企業体から参加表明書の提出があり、一次審査の結果、二次審査に進んだ 3 者の設計共同企業体から平成 30 年 8 月 24 日（金）に技術提案書の提出があった。

### 2. 審査の経過

審査に際し、参加者から提出された「技術提案書」は、事前に各委員に配布され、各委員はあらかじめその内容を確認・検討しプレゼンテーション及びヒヤリング審査に臨んだ。

尚、配布した資料は、審査の透明性及び公平性を確保するため参加者名を伏せ（提案番号①A社～提案番号③C社）で表記した。また、プレゼンテーション及びヒヤリング審査実施も同様に参加者名を伏せて行った。審査時間は、プレゼンテーションを 15 分、ヒヤリング（質疑応答）を 10 分程度で実施した。

1) 技術提案書を提出した設計共同企業体のプレゼンテーションヒヤリング順番は、かな順で決定した。

	梓・国吉設計事務所共同企業体（提案番号①A社）	提案番号②B社	㈱国建・㈱環境設計国建設共同企業体（提案番号③C社）
説明順番	1 番	2 番	3 番

2) 参加者 3 者のプレゼンテーション及びヒヤリング（質疑応答）の後、技術提案書①～③について、優れていた点や気になった点等について各委員で意見交換を行い、理解を深めた上で審査要領に基づき各審査委員にて採点審査を行い上位 2 者に絞った。

#### 【主な意見等】

- ・台風時の強風対策について提案が不足しているものがある。
- ・与那原らしさを引き出すため赤瓦を使用するが、落下防止やメンテナンス等の考慮が掛けている提案がある。
- ・将来計画道路の考慮が不足している提案がある。
- ・執務空間やホール配置の考え方で、もう少し工夫が必要な提案がある。

3) 一次審査（採点審査）結果

社 名	審査員採点 (130 点配点)	平均点合計 (130 点)	順 位
提案番号①：A社	483.00	96.60	1
提案番号②：B社	463.00	92.60	3
提案番号③：C社	471.00	94.20	2

4) 得点の高い上位2者について委員間で意見交換を行い、委員一人当たり持ち票を1票とし、優秀と思う技術提案について投票を行った。

投票結果	梓・国吉設計事務所共同企業体（提案番号①A社）	(株)国建・(株)環境設計国建設計共同企業体（提案番号③C社）
	3票	2票

【主な意見等】

- ・ 地元特産品を活かしつつ、強風対策も考慮した外部ルーバー等の提案がある
- ・ 双方ともにメンテナンス性も考慮した防災対策の提案がある
- ・ 設計スケジュールについては双方考慮されているが、工事期間まで考慮された提案は1者のみ
- ・ 防災機能（機器管理機能）の提案について、一方の提案内容には説得力が足りない提案がある

5) 最終結果

投票結果、意見交換を踏まえ、最優秀者を梓・国吉設計事務所共同企業体（提案番号①A社）、次席者を(株)国建・(株)環境設計国建設計共同企業体（提案番号③C社）とした。